

イベントの奥深さを知り、 やりがいを持って社会へ



2期生
イベント
デザインゼミ専攻
(現：桑田ゼミ)

■名前
瀧井美貴

■出身地
大阪府茨木市

■観光デザイン学科の志望動機
絵を描き続けながら、新たにいろ
んなことに挑戦できそうと思った。

■こんな仕事をしています
テレビの制作会社でアシスタント
ディレクター・フロアディレクター

「人に喜んでもらえること」に
やりがいを感じる性格で、それが
活かせるようなイベントデザインを
専攻。
古川町商店街での活性化イベン
トを企画から実施までのプロデュ
スをしました。その中で人の意見
を聞き、内容をまとめて企画を練
り上げ、自分の意見をプレゼンし
ていく。その作業を繰り返してい
くことで、より意義のあるイベン
トへとつくりあげていくことがで
きることを肌で知りました。また、
大きなイベントになると、達成す
べき一つの目的に向かっていく「チー

ムワーク」が必要不可欠であると
実感。観光デザイン学科では、机
上の空論で終わらないイベントデ
ザインの本質をたくさん学ぶこと
ができました。
仕事では現在、テレビ番組の制
作現場でアシスタントディレクター、
フロアディレクターをしています。
イベントと番組制作は似ていると
ころがあり、番組の企画内容を理
解し、「伝えたいこと」を念頭に
おきながら、情報リサーチ、アポ
取り、小道具準備をして、ロケや
本番に挑みます。また、チームの
中で自分に与えられた役割をしっ



卒業制作では『雨の日の子供の遊び〜雨の日を好きになろう〜』というテーマで雨の日の楽しみ方を企画提案。市の施設に企画を持ち込み、実際にイベントを実施。その時に子どもたちと制作した、雨具の作品と論文を展示発表した。

かりこなすことも大学で得た貴重な経験であり、大切にしています。